

TOSCA

歌と愛に生きた一人の歌姫のあまりにも悲しい人生の結末……

G・Puccini 全3幕ハイライト版(日本語字幕付き)

垣岡敦子 AMORE ～愛の歌 VOL.7



©FUKAYA Yoshinobu/auraY2

カヴァラドッシ
宮里直樹
NAOKI MIYASATO



©Takafumi Ueno

スカルピア
上江隼人
HAYATO KAMIE

トスカ
垣岡敦子
ATSUKO KAKIOKA



音楽監督・ピアノ
村上尊志
TAKASHI MURAKAMI

2021
11.21日

15:00開演(14:30開場)

銀座・王子ホール OJI HALL

全指定席 10,000円 ※未就学児入場不可

前売
チケットぴあ0570-02-9999 (Pコード202-972)
CNプレイガイドwww.cnplayguide.com 0570-08-9990
王子ホールチケットセンター03-3567-9990

主催：オフィスAI
特別協賛：ショパールジャパン株式会社
照明：株式会社フラットステージ
字幕：株式会社アルゴン社

マネジメント・お問合せ：Shin・En 新演コンサート 03-6384-2498 www.shin-en.jp

©FUKAYA Yoshinobu/auraY2

美貌の歌姫と青年画家の恋を阻む壮絶な運命！ 名アリアが彩る現代版「トスカ」のスリリングなサスペンスドラマ！

冷酷な警視総監に狙われた歌姫・トスカと画家のカヴァラドッシの運命の行方は？

愛と欲望のサスペンスドラマを、〈歌に生き、恋に生き〉〈星は光りぬ〉などの名アリアが彩る。

あらすじ

カヴァラドッシ（画家）は友人のアンジェロッチ（脱獄してきた政治犯）の逃亡を手助けする。そのことが明らかになり、カヴァラドッシはスカルピア（警視総監）に捕らえられ死刑が告げられる。トスカ（歌姫）は、恋人・カヴァラドッシを救うために、スカルピアに助けを求める。以前よりトスカに思いを寄せていたスカルピアは、カヴァラドッシの命と引き換えにトスカの貞操を求める。トスカは、とつさにスカルピアを殺し、恋人を助けようとするが、最後に悲劇が待ち受けていた。トスカは、スカルピアに騙され、カヴァラドッシは処刑されてしまう。そして、最後にトスカもカヴァラドッシを追って身を投げ悲劇は、幕を閉じる。

ソプラノ・オペラ歌手 垣岡敦子 Atsuko Kakioka

同志社女子大学 学芸学部 音楽科声楽専攻を首席で卒業。同大学頌啓会特別専攻科修了。国内外において数々のオペラをはじめソロリサイタル、デュオリサイタルに出演。2000年にイタリアに渡り、ミラノ音楽院にてミラノスカラ座の副指揮者D・マツォーラ、同劇場アカデミアボイストレーナーのM・ビアンカ・カゾーニ、G・カネッティ他各氏の元で研鑽を積み、現在は林康子氏の元で更に研鑽を積んでいる。イタリア・ヴァルセージアの歌劇場で《ラ・ボエーム》のムゼッタでイタリアデビューを果たしたあと、ミラノを拠点にスペイン各地などで数々のオペラ・コンサートに出演し、特にウィーン楽友協会での第九のソロは、超満員の聴衆を魅了した。スペインの公演では、音楽雑誌「L'OPERA」に「素晴らしい響きを持ったソプラノ、特に高音は羨む伸びのある柔らかい響き」と掲載された。大阪・いづみホールで行われた「垣岡敦子ソロリサイタル」に対し大阪文化祭奨励賞を受賞し「その声は、透明感に溢れる美しい声と独特の華がある舞台」と絶賛された。また、読売新聞主催のブッチェニ生誕150周年記念コンサート「日韓オペラコンサート」に日本代表として選出される。東京・新国立劇場・中劇場にて、日本初演オペラ《ラ・フィアンマ》《復活》の難役の主演多数のオペラの主演を歌いその日本人離れしたその声と容姿は、新聞、各方面より絶賛を博している。白寿ホール、銀座・王子ホール、東京・紀尾井ホールに続き、サントリー大ホールにても日本フィルハーモニー交響楽団との共演でリサイタルも大成功させた。日本クラシック音楽コンクール最高位ははじめ、イタリア・コレテミリア国際コンクール2位、RE・SE・JONG国際コンクール3位などを受賞。ファーストアルバム「CUORE」(制作東芝EMI)をリリース、続けて「Amore」の2枚のCDをリリースしている。藤原歌劇団、日本オペラ協会会員、日本演奏連盟会員。2009年イタリアより完全帰国、現在東京在住。垣岡敦子オフィシャルサイト www.atsukokakioka.com/



©FUKAYA Yoshinobu/auraY2



©FUKAYA Yoshinobu/auraY2

宮里直樹(テノール) Naoki Miyasato

東京都出身。東京藝術大学声楽科首席卒業。同大学院オペラ科修了。明治安田QOL文化財団、ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。ウィーン国立音楽大学オペラ科にて2年間学ぶ。声楽を多田羅迪夫、ラルフ・デーリング、ジャコモ・アラガルの各氏に師事。これまでに小林研一郎、尾高忠明など著名指揮者のもとN響を始めとする国内主要オーケストラと共演。その他上海交響楽団、チャイナ・フィルハーモニー管弦楽団、LVIVフィルハーモニックオーケストラと共演。《愛の妙薬》ネモリーノ、《ラ・ボエーム》ロドルフォ、《椿姫》アルフレド、《蝶々夫人》ピンカートン、その他多くのオペラにて主演で出演。2022年新国立劇場「ばらの騎士」にテノール歌手役で出演予定。ベートーヴェン「第九」「荘厳ミサ曲」、ヴェルディ「レクイエム」、ロッシーニ「スターバト・マーテル」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、マーラー「千人の交響曲」等、いずれもソリストとして多数の宗教曲コンサートでも活躍している。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、NHK-BS「クラシック倶楽部」等に出演。イタリア・ガルダ湖にて毎年開催されているムジカ・リーヴァ・フェスティバルにて2016年、2018年に出演。2020年、2021年と2年連続でNHKニューイヤー・オペラコンサートに出演。第23回リカルド・ザンドナーイコンクール第2位。第48回日伊声楽コンクール第1位。五十嵐喜芳賞、歌曲賞受賞。第10回東京音楽コンクール声楽部門 第2位(1位なし)。同時に聴衆賞受賞。その他受賞歴多数。二期会会員。<http://naokimiyasato.com>

上江隼人(バリトン) Hayato Kamie

東京藝術大学大学院首席修了。2011年ヴェルディ音楽祭において《トロヴァトーレ》でルナー伯爵をブッセート劇場にてイタリアデビュー、2015年同音楽祭にて《リゴレット》表題役に日本人バリトンで初めて大抜擢され話題を呼んだ。国内では二期会《ナブッコ》《リゴレット》《ドン・カルロ》《パリアッチ》《トロバトーレ》《三部作》、藤原歌劇団《椿姫》《リゴレット》、日生劇場《セビリアの理髪師》、新国立劇場《アイダ》、札幌芸術劇場《アイダ》などにプリモバリトンで出演、好評を博す。特に2015年の東京二期会《リゴレット》では各誌にも「道化の絶唱」と大絶賛された。海外では、バルマ王立歌劇場、シチリアのカターニアのマッシモ・ベッリーニ劇場、同劇場の上海ツアー等にも参加した。2021年は藤原歌劇団《ボエーム》マルチェロ役、同団《ジャンニスキッキ》表題役で出演し好評を博す。10月には新国立劇場《チェネレントラ》ダンディーニ役にて出演。2015年からNHKニューイヤーオペラ・コンサートにも出演。五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。令和2年度文化庁芸術祭新人賞受賞。CD アルバム「ヴェルディアーノ」絶賛発売中。日本声楽家協会アカデミー会員。藤原歌劇団会員。



©Takafumi Weno

村上尊志(ピアノ) Takashi Murakami

藤原歌劇団や新国立劇場のオペラ公演で、コレペティトゥーア＝歌手に音楽稽古をつけるピアニストとして活躍。指揮者、歌手、演出家から絶大な信頼を得ている音楽スタッフで、オペラの他、声楽のリサイタルやアンサンブルに欠かせない存在である。これまでに、東敦子、林康子、市原多朗、出口正子、折江忠道、幸田浩子、G.カゾッラ、G.ジャコミニ、R.ブルゾン、M.デヴィア、M.アルパレス等の声楽家とコンサート、リサイタルで共演。1990～91年、文化庁芸術家在外派遣研修員としてミラノへ留学。スカラ座の指揮者／ピアニストのマッゾーラ氏に師事。ミラノ、フィレンツェ、パリでのコンサートに出演。またヴェルサイユ劇場の《コンファン・トゥッテ》で練習ピアニストを務めた。1997年秋より3年間、ローム・ミュージック・ファンデーションの奨学金を得、再度イタリアに留学した。静岡国際オペラコンクールの公式ピアニストを第1回目より務めている。現在、東京藝術大学オペラ科及び声楽科講師。



新型コロナウイルスに関するお客様へのお願い

- ご入場には十分な距離の保持や体調確認等に時間を要します●ご入場時の検温で高熱(37.5度以上)の方・症状のある方はご入場を見合わせて頂きます。何卒ご理解下さいませ
- 会場内ではマスクを正しくご着用いただき、会話やブラー音などのお声かけはお控えください●ご入場前に手指消毒をお願いします●出演者への贈り物お手渡し及びご面会は出来ません